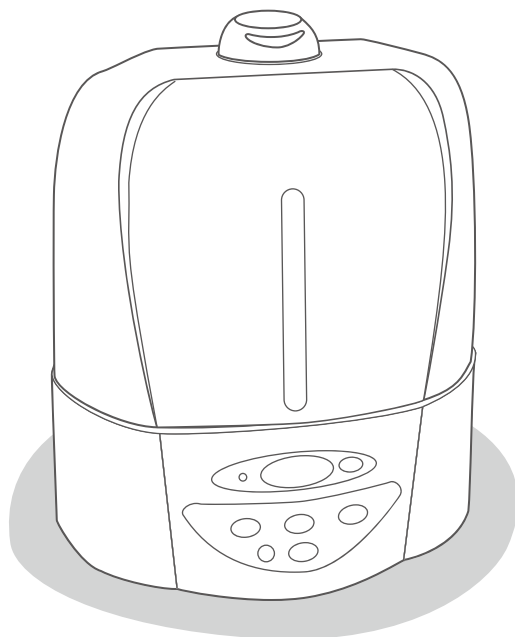


超音波噴霧器 HM-101



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店または弊社サービス窓口
に修理をご依頼ください。

定期的に点検する



愛情点検

安全及び性能維持の為にも、お買い
上げ時とその後1年に一度は安全点
検を行ってください。

万一、異常がおきたら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店または弊社サービス窓口
に修理を依頼してください

もくじ

◎ 安全上のご注意	1
◎ 警告	2
◎ 使用上のお願い	3, 4
◎ 各部の名前	5

◎ 使いかた	6
◎ お手入れと保管	7
◎ 故障かな！？	8
◎ 保証とアフターサービス	9
◎ 仕様	10

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に、必ずお読みください。

また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

* ここに示した注意事項は、噴霧器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

■誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分し説明しています。



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある内容」です。



注意

「傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。（図の中に具体的な内容が描かれています）



「してはいけない」内容です。



「実行しなければならない」内容です。



警告



分解禁止

■改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。



水濡れ禁止

■水につけたり、水をかけたり、機器上部から給水しない

水もれ・ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

■幼児の手が届く範囲で使わない

感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

■お手入れの際は、必ず差込プラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。



使用禁止

■本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない

霧化部に洗剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。

■電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



■電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなどをすると破損し、火災・感電の原因になります。

警告



禁止

■指定の液体以外を使用しない

本機は指定の液体専用です。指定以外の液体を供給すると、液体によっては機器が壊れる、または人体、動物、植物、品物等に悪影響を及ぼす場合があります。最悪の場合は健康を害する場合もありますので、絶対におやめください。

■古くなった液体を使用しない

古くなった液体は十分な効果を得られない場合がありますので、使用しないでください。

■加湿器として使用しない

本機を水だけ(水道水、井戸水、市販の水など)で使った場合、レジオネラ菌等の雑菌を噴霧する可能性があります。場合によっては死亡する可能性がありますので、絶対におやめください。

■吹出口や本体の隙間にピンや針金などの異物を入れない

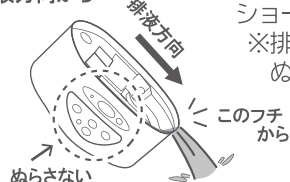
感電やけがの原因になります。

■交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。



排水方向から



■排水方向から排水する

排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に液が入り、火災・感電・ショートの原因になります。
※排水時に操作パネルをぬらさないでください。

排水時は必ず先に電源プラグを抜いてください



ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



プラグを抜く

■異常時(こげくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、火災や感電の原因になります。運転を停止して、お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。

注意



禁止

■液体タンクをはずして使用しない

液が飛び散って床をぬらしたり送風筒から液が入り、故障の原因になります。

■不安定な場所には置かない

液がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

■使用中は本体を持ち運ばない

液がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

■使用中や使用直後はお手入れをしない

けがややけどの原因になります。

■電気製品やパソコン、精密機器などがあるところでは使用しない

湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。



プラグを抜く

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



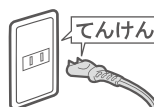
プラグを持って抜く



液体を入れ換える



プラグの点検



■電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ずプラグ部を持って抜く

感電やショートして発火することがあります。

■液体タンク内に残っている液体は、毎週新しく入れ換える

水槽部に残っている液体も、液の入れ換えの際捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1~2回以上はお手入れして常に清潔な状態でお使いください。

■時々電源コンセントやプラグの点検を

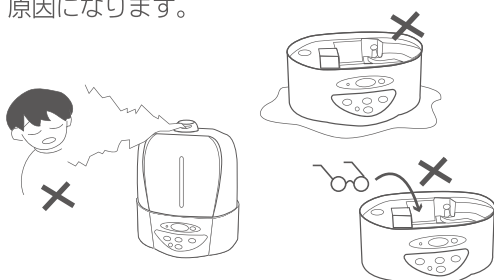
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ホコリがたまり、湿気が加わることで電流が流れて火災の原因になります。差込プラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。思わぬ事故を防ぐために、コンセントの周りにホコリをためないように時々掃除をする。差込プラグがしっかりと差し込まれているか、コンセントや電源プラグに異常がないか確かめる。

使用上のお願い

事故や故障などを防ぐために、必ずお守りください

■液体タンクをはずして使用したり、加湿器として使用しないでください

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。



■こんな時は移動させたり、持ち運んだりしないでください

- タンクを本体にセットした後
 - 本体水槽部に液体が入っている時
- 液体がこぼれて周囲をぬらしたり、機器の中に液体が入って故障の原因になります。

■霧化しすぎないでください

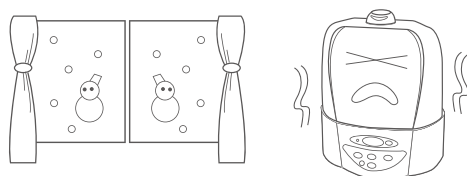
室内をぬらしたり故障の原因になります。

■本体内のお手入れをこまめに行ってください

水槽部や霧化部に液あかなどが付着したまま使い続けると、誤作動をしたり故障の原因になります。

■凍結に注意してください

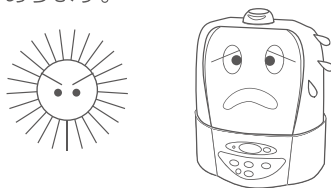
凍結の恐れがあるときは、タンクと本体水槽部の液体を捨ててください。
凍結すると故障の原因になります。



こんな場所では使用しないでください

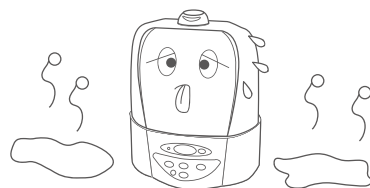
■直射日光が当たる場所や、暖房機の上または近く

変形、変色をしたり、誤動作をすることがあります。



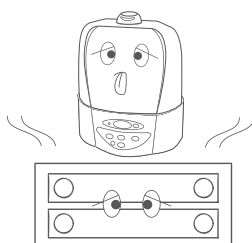
■湿度の高いところ

故障の原因になります。



■熱に弱い家具や床などの上

本体底面の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。



■カーペットや布団などの上

本体底面の吸気口がふさがれると、誤動作や故障の原因になります。



使用上のお願い

設置場所のご注意

本機は非常に大きな霧化能力があり、設置場所や設置方法によっては周辺の家財などに悪影響を及ぼすことがあります。

以下の設置場所に関するご注意をよくお読みになり、正しくご使用ください。

精密機器/電気製品のあるお部屋を使用するとき

■パソコンやテレビ、音響機器などの上に絶対に置かないでください。

- 万が一、液がこぼれたりした場合、機器の内部に液が入り、火災や感電、故障の原因になります。また、パソコンやテレビ、音響機器などからできるだけ離れた場所に設置して「吹出口から出る霧」が機器にかからないようにしてください。直接機器に霧がかかると、ぬれたり、霧に含まれる「白い粉(*)」が内部に付着して故障の原因になることがあります。やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹出口」の向きや「発生量」を調節して、霧が直接機器にかからないように十分注意してください。



家具やカーテンなどが近くにあるとき

■家具やカーテンなどからできるだけ離れた場所に設置して「吹出口から出る霧」が直接かからないようにしてください。

- 直接家具やカーテンに霧がかかると、変質・変色したり、カビや異臭の原因になることがあります。また、霧に含まれる「白い粉(*)」が家具などの表面に付着することがあります。この「白い粉(*)」は、通常ぬれたタオルなどでふき取れますが、一部の家具では、材質や表面の処理の関係でふき取りにくいことがありますのでご注意ください。(高価な家具があるお部屋でご使用の場合は特にご注意ください。)やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹出口」の向きや「発生量」を調節して、霧が直接家具などにかからないようにしてください。



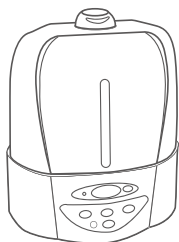
その他で設置に際し、注意していただきたい場所

■床や畳の上に直接設置する場合

- 発生量が多すぎると「吹出口から出る霧」で床や畳をぬらすことがあります。「発生量」を調節して、周辺がぬれないように十分注意してください。

■ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近く

- 「吹出口から出る霧」が直接かかると、変色やしみの原因になることがあります。「吹出口」の向きや、「発生量」を調節して、霧が直接かからないようにご注意ください。

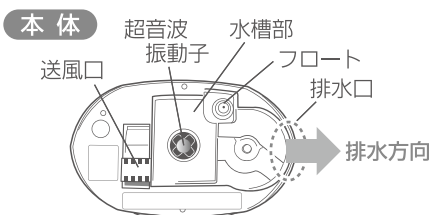
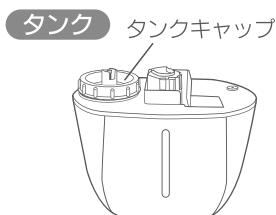
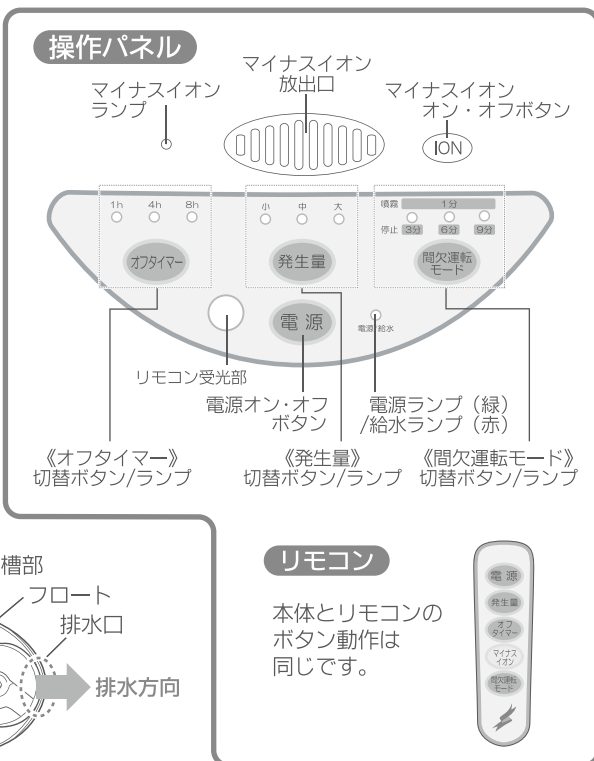


* 白い粉について

■本機は超音波によって液体を振動させて霧を発生させます。

この構造上、霧の蒸発に伴い、機器の周辺に「白い粉」が残ることがあります。この「白い粉」は、発生する霧の中(液体を水道水で希釈して使用する場合には「カルシウム」や「マグネシウム」などのミネラル成分であり、人体には無害ですが、周辺の家財などに大量に付着すると、悪影響を及ぼす恐れがあります。

各部の名前



運 転

1 運転を始める/とめる

- 電源プラグを差し込む
- 「電源」ボタンを押す→「入」電源/給水ランプ(緑)が点灯
動作中に押す→「切」電源/給水ランプ 消灯

2 霧の発生量を調節する

- 「発生量」ボタンを押すごとに次のように切りかわります。
- 「小」→「中」→「大」
- ※初期状態は「小」です。
※風量の調節はできません。
※霧の発生量(9ページ参照)

3 運転モードを設定する

- 「間欠運転モード」ボタンを押すごとに次のように切りかわります。
- 連続運転(ランプ点灯なし) → 「噴霧1分/停止3分」
「噴霧1分/停止9分」 → 「噴霧1分/停止6分」 ←
- ※初期状態は「連続」です。※噴霧中はランプが点滅します。
※各モードの液体消費量は9ページをご覧ください。

4 オフタイマーを設定する

- 「1・4・8」時間(h)後に電源を切る設定ができます。
- ※ランプ点灯なし→「連続」運転
※初期状態は「連続」です。

5 マイナスイオンを放出する

- 10000個/ccの「マイナスイオン」が中央のマイナスイオン放出口から吹出されます。※初期状態は「切」です。

給水ランプ(赤)が点灯

<空炊き防止機能作動>

- タンク内の液体がないとき
- タンクがないとき
- タンクが正しくセットされていないとき

噴霧を自動停止。数秒間ブザーが鳴り、給水ランプ(赤)が点灯します。

- 液体を補充する
- タンクを正しくセットする

給水ランプ(赤)が消え、噴霧を再開します。

設定内容保持機能について

各種設定内容は電源をオフにしても、再度電源をオンにしたときに内容を保持します。

- ※オフタイマーの設定は保持しません。都度設定してください。
- ※電源プラグを抜いた場合や停電した場合、設定内容は初期状態に戻ります。

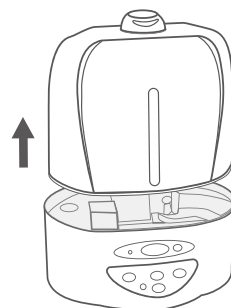
HM101_MANU-P5_V2.0

使いかた

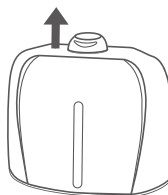
タンクに液体を入れる

1 本体から液体タンクをはずす

- 水槽に液が入っている時は液体タンクの下に付着した液体がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。



2 液体タンクから吹出口をはずす



3 タンクキャップをはずし、タンクに液体を入れる

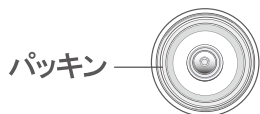
- 液体の使用方法是液体の説明書をご覧ください。
- 本体や液体タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水（40℃以上）などを入れないでください。
- 指定以外の液体を入れないでください。
液体の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。また、指定外の液体は健康を害する恐れがあります。
- 本体や吹出口に直接液体を入れないでください。
本体内部に液体が入り、故障の原因になることがあります。
- 液体タンクをぶついたり、落としたりしないでください。
液体タンクの破損により、水漏れの原因になります。
- 液体タンク内の液体は毎週交換して、常に清潔にご使用ください。

満水で約5リットル
入ります。



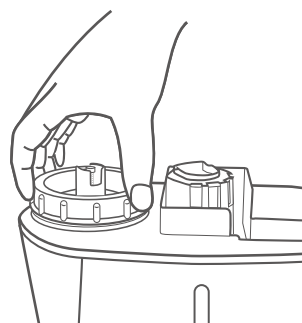
4 タンクキャップをしっかり締める

- ゴムパッキンがタンクキャップに取り付いていることを確認してください。
また、キャップはしっかり締め付けてください。
ゴムパッキンが取り付けいていなかったり、キャップの締め付けが弱いとタンクに空気が混入して、水濡れの原因になることがあります。



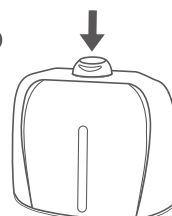
ななめ

まっすぐに
しめない
と液体が
こぼれます。



5 液体タンクを本体にセットし、吹出口を取り付ける

- 水槽に液体が入っている時は液体タンクの下に付着した液体がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。



お手入れと保管

⚠ 警告

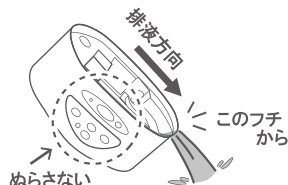
■お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。

排水のしかた

- 電源プラグを抜き、液体タンクを本体からはずす

本体を図の方向に傾けて排水する

※操作パネルをぬらさないでください。



⚠ 注意

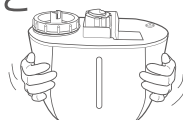
■必ず排水方向へ排水してください。
排水方向を誤ると、水濡れ・火災・感電・ショートの原因になります。

液体タンク・吹出口（給水時に）

- 吹出口をはずし、液体タンク内に残っている液体を捨てる

液体タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップを閉めてよく振り洗いしたあと排水する *2~3回繰り返す

- 吹出口の汚れを水洗いした後、柔らかい布でふき取る



液体タンクに衝撃を加えると、破損して液体漏れの原因になります。液体タンクのお取り扱いには十分に注意してください。

水槽部・霧化部・フロートなど（1週間に1~2回以上）

■霧化部（振動子）

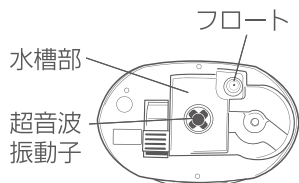
- 振動子の表面に付着した汚れを柔らかい布でふき取る

■水槽部

- 水槽の内側に付着した汚れを水に浸した柔らかい布でふき取る

■フロート

- フロートの周りにゴミが入っていないか確認し、ある時は取り除いてください。
柔らかい布で汚れをふき取る



お願い

- 振動子の表面を金属（ブラシ・ヘラ）、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
*変形したり傷がつくと、霧の発生が弱くなったり故障の原因になります。

吸気口のお手入れ（1ヶ月に2回以上）

- 本体底面の吸気口に掃除機のノズルを当ててホコリを吸い取る

お願い

*ホコリがたまると風量が落ちたり誤動作や故障の原因になります。こまめに掃除をしてください。

本体外側

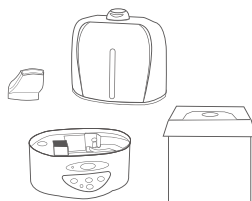
水を浸した柔らかい布で汚れをふき取る

⚠ 注意

- 本体の丸洗いはしないでください。
感電や故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・ベンゾール・ミガキ粉・タワシなどを使用しないでください。
変質、変色の原因になります。

保管のしかた

- お手入れをした後、水をよくふき取り、液体タンクや本体をかげ干ししてください。
- 液体タンクや本体内に液の残りがいないか確認してください。
- 液体タンクや本体を組み立ててポリ袋などで包み、もとの梱包ケースに入れて湿気の少ないところで保管してください。



⚠ 注意

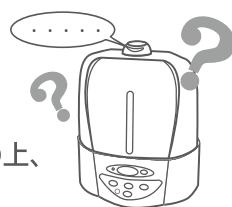
湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因になります。よく乾かしてから保管してください。

故障かな！？

まず、次の確認をしてください。

それでも症状が改善しなかったり、頻発する、または下記以外の症状の場合は機器の故障が考えられます。

本書の「保証とアフターサービス」(9ページ)、保証書(裏表紙)をよくお読みの上、弊社サービスセンター(取扱説明書裏表紙に記載)へご連絡ください。



こんなときは	確認事項
電源が入らない	●電源プラグがしっかりコンセントにささっていますか？ 電源プラグをさし直し、電源スイッチをいれてください。
霧が出ない	●給水ランプが点滅していませんか？(P. 5) ・液体タンクに液体を補充し、本体にセットしてください。 ・フロートスイッチを清掃して、フロートがスムーズに上下するか確認してください。 ●発生量が「小」運転になっていませんか？(P. 5) 発生量「小」運転の場合、水が冷たかったり湿度が低い時は霧が出なかったり霧が見えにくい場合がありますが、故障ではありません。 しばらく「連続運転」にして様子をみてください。 ●本体内部で霧は発生していますか？ ☆本体上部の吹出口をはずして内部を覗いてみてください。 ■本体水槽部に霧がたまっている場合 本体水槽部の水位が高くなり、風の出口がふさがっている状態 ●振動、液体が入ったまま本体移動、何度もタンクを抜き差しなどの場合や、タンク内の空気が膨張するなどが原因で水槽部の適正水位より高くなり、霧が出なくなることがあります。(故障ではありません) 温風や直射日光が当たる場所では、タンク内の空気が温まって膨張し、本体水槽部に余計に液体を供給してしまうことがありますので、設置場所を変えてください。 ●タンクキャップをしっかり締めていない、またはキャップのパッキンがはずれていることなども原因になります。 ★このような時は、一度本体水槽部の液体をすべて他の容器に排出してから、再度タンクをセットしてください。 送風ファンが通常回転していない状態 ●本機には霧を放出するための送風ファンモーターを搭載しています。このファンモーターの軸受け内の油が冷えて若干硬くなっている場合、霧を噴出すまで時間がかかることがあります。(故障ではありません。特に冬場) ※5～10分連続運転をしていただくことで徐々に霧が出てきます。 ★モーターが低回転もしくはロックしていても、保護機能を搭載しているため、異常加熱や火災の恐れはありません。 【超音波加湿ユニットの寿命について】 ●超音波加湿ユニット(駆動基板+振動子)は消耗品です。常温使用時には約5,000時間を目安に交換を推奨しておりますが、使用状況によっては寿命が短くなる場合があります。その際、万が一保証期間内であっても無料修理規定に応じられませんので予めご了承ください。 ●お客様にて部品の交換はできませんので、まずお買い上げの販売店にご相談いただき、弊社サービスセンターへ持ち込み、または送付願います。 △注意 感電防止のため 電源プラグを抜いてから 排出してください。
水漏れする	●本体を傾けたり、倒したりしていませんか？ ●液体が入ったまま本体を移動していませんか？ ●タンクキャップはしっかり締まっていますか？ 締りが緩すぎると液体過供給の原因になります。
本体のニオイが気になる	●液体タンク内の液体は古くなっていませんか？ 液体タンク内、本体水槽部をこまめにお手入れし、新しい液体を使用してください。

修理・使いかた・お手入れ など

■まず、**お買い求め先へ** ご相談ください

販売店名			
電 話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

【お願い】

購入日・販売店名を必ずご記入ください。

※修理時に購入日がわからない場合は、
購入より1年以内でも有償修理になる
場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(8ページ)をご確認後、症状が改善しなかったり頻発するときは、下記の内容をお買い求めいただきました**販売店**または**弊社サービスセンター**へご連絡ください。
※お電話で解決できることもありますので、故障の状況(症状・使用環境・使用頻度など)を具体的に
リペアリクエストにご記入いただき、内容を整理の上ご連絡ください。

■記入したリペアリクエストをご用意の上ご連絡ください

製 品 名 超音波噴霧器

型 式 HM-101

故障の状況 できるだけ具体的に
(症状・使用環境・使用頻度・使用液体名など)



【お願い】

**故障状況を必ず具体的にご記入
ご連絡をお願いします。**

故障状況のご申告がない場合、サービスセンター
で診断に時間がかかったり、症状が再現・発見
できずにそのまま返送になってしまう場合が
ありますので、ご協力をお願いいたします。

お電話で解決できなかった場合

修理依頼品を発送するときは

保証書の内容をよくお読みください

- 保証期間中は、保証書の規定に従って無料で修理いたします。
(保証期間：本体お買い上げ日より1年間)

※ただし「霧化部超音波振動子」は消耗品のため、使用頻度により
保証期間内であっても有料になる場合があります。

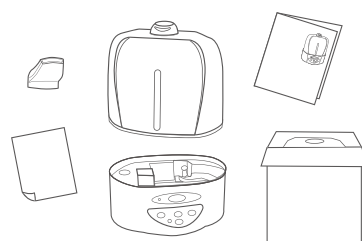
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により
修理させていただきます。

※修理料金構成

- 技術料：診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代：部品および補助材料代

- 製品(付属品・保証書を含むすべて)とリペアリクエ
ストを同梱し、下記の弊社お客様サービスセンター
へ送付してください。

※修理依頼時の送料はお客様ご負担にてお願いいたします。



初期不良(お買い上げ1週間以内の故障)の場合

- 初期不良に限り、佐川急便着払いにて
ご返送願います。
- ※事前連絡なしの場合および佐川急便以外
の着払いはお受け取りできかねますので、
予めご了承ください。

星光技研 お客様サービスセンター(修理依頼 窓口)

TEL 026-243-4055
FAX 026-244-3455

 SEIKO GIKEN INC. 株式会社 星光技研
〒381-0012 長野県長野市柳原1573

【受付時間】 9:00~17:00
月~金(祝日を除く)

都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更
させていただくことがありますのでご了承ください。

[E-mail] info@seiko-giken.jp
[URL] <http://www.seiko-giken.jp>

仕様

機 器 名 称	超 音 波 噴 霧 器
型 式	HM-101
霧化ユニット数	1 個
振動子駆動周波数	1.6MHz ±50KHz
振動子耐薬品処理	特殊珪塗付
霧 化 量	約350cc/h（水温・周囲温度25℃時）
適用床面積※	～約26畳（条件により増減する可能性があります）
動 作 音	35dB以下
設置方式	据置型
吹出口（霧出口）	水平方向360° 方向調整可能（着脱式）
給水方法	タンク式 容量 約5L（タンク未装着時運転防止機能）
使用液体	次亜塩素酸精製水（HOCI希釈品 80ppm以下） 弊社指定品のみ使用可能
給水水温	5～40℃
許容周囲温度	5～37℃（ただし凍結・結露なきこと）
許容周囲湿度	80%RH以下（ただし結露なきこと）
定格電圧	AC100V（50/60Hz）
許容電圧範囲	定格の90～110%
消費電力	35W
重 量	乾燥時 約2.7kg / 満水時 約7.7kg
外形寸法	305(W)×350[390](H)×210(D)mm ※[]内はロングノーズ吹出口装着時
電源コード	2Pプラグ付きコード 1.9m
リモコン仕様	5ボタン赤外線ワイヤレス方式 CR2032コイン電池
その他の機能	液切れ空だき防止機能 オフタイマー（1,4,8H）/ マイナスイオン放出機能 付

※噴霧器としての適用床面積であり、加湿器としての適用床面積ではありません。

HM101_MANU-P10_V2.0

■各設定の1時間当たりの液体消費量

発生量	運転モード	連 続 運 転	1分運転/3分停止	1分運転/6分停止	1分運転/9分停止
小		約100～200cc	約25～50cc	約14～28cc	約10～20cc
中		約200～300cc	約50～75cc	約28～43cc	約20～30cc
大		約300～400cc	約75～100cc	約43～57cc	約30～40cc

※上記の液体消費量は概ねの目安です。使用環境（室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素）によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※風量の調節はできません。

超音波噴霧器品質保証書

持込修理

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品は厳重な検査を行い高い品質を確保しておりますが、万が一保証期間内の故障の場合、下記の内容に基づきまして無料で修理を行いますので本書を大切に保管願います。

機種名	HM-101/W(パールホワイト)	製造番号	
保証期間	本体お買上げ日より1年間	お買上げ日	年 月 日
お客様	お名前	販売店	店名・住所
	ご住所 〒 -		
	電話 - -		電話 - -

★ご販売店様へ：販売の際は贈答品、記念品の場合を含めて必ず記入捺印してお客様にお渡し願います。

無料修理規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障した場合にはお買い上げの販売店または弊社サービスセンター（お問い合わせ・修理依頼 窓口）が無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または弊社サービスセンター（お問い合わせ・修理依頼 窓口）にお申し付けの上、故障品・保証書・具体的な症状を記入したリペアリクエストをあわせてご送送ください。輸送の際、ご購入時に梱包されていた箱を使用してください。他の箱を使用されますと、機器が破損する恐れがあります。なお、故障品送付時の送料につきましてはお客様にてご負担願います。修理品を返送する際の送料は弊社にて負担させていただきます。（ただし離島を除く、国内に限ります。）
3. 修理に必要な部品・部材または製品添付物等を単体でご提供する事はできません。
4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. 本製品保証規定はご購入製品について故障の修理または代替品の提供のみをお約束するもので、本製品の故障または使用による損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
7. 保証期間内でも以下の項目のいずれかに該当すると判断した場合は、保証の対象外とさせていただきます。
 - (1) 保証書のご提示がない場合
 - (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合
 - (3) お買い上げ後の輸送、落下、移動時によって生じた故障および損傷した場合
 - (4) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (5) 車両および船舶等に搭載された事によって生じた故障および損傷した場合
 - (6) 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障および損傷
 - (7) 消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合
 - (8) 本製品を本来の使用目的で使用していない場合
 - (9) 本製品を弊社の指示無く開封、改造または規格変更し使用していた場合
 - (10) 間違った設置工事によって故障した場合
8. 超音波加湿ユニット（駆動基板・振動子）は消耗品です。常温使用時には約 5,000 時間を目安に交換を推奨しておりますが、使用状況によっては寿命が短くなる場合がありますのであらかじめご了承ください。万が一保証期間内であっても無料修理規定に適用されませんのであらかじめご了承ください。お客さまにて部品の交換はできませんので、お買い上げの販売店または弊社サービスセンター（お問い合わせ・修理依頼 窓口）までご相談の上、持ち込みまたは送付願います。

超音波噴霧器についてのお問い合わせ 星光技研 お客様サービスセンター（修理依頼 窓口）

TEL 026-243-4055
FAX 026-244-3455

【受付時間】 9:00~17:00
月～金（祝日を除く）

都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただきますことがありますのでご了承ください。

【製造元】



SEIKO GIKEN INC.

株式会社 星光技研

〒381-0012 長野県長野市柳原1573

[E-mail] info@seiko-giken.jp

[URL] http://www.seiko-giken.jp